



JAにいがた南蒲では、オリジナルブランド米「難関突破米」を販売しています。米を通して頑張る人を応援することで、地域とのつながりを深めています。

## 選りすぐりの米で 頑張る人にエール



「難関突破米をきっかけに、県内外に南蒲産の農畜産物を知って食べてほしいです」と吉田会長（右）。

しているので品質は折り紙付き。平成26年産から商品化し、様々な困難を乗り越えてきた縁起物として好評です。JAにいがた南蒲の吉田文彦会長は、「稲作が盛んな地域ですが消費量は年々減少。アピール方法を考えた際、生産者に特殊な栽培方法をお願いするのではなく、普段通り米を作ってもらい、その中で付加価値を付けることにしました。生産者も自分の米が難関突破米になるかもしれないことがモチベーション向上になっているようです」と話しました。



全国大会出場の管内の少年野球チームに佐野行雄理事長(左)が難関突破米を贈呈しました。

厳しい農業情勢や気候など難関を乗り越えた米で頑張る人を応援しようと、高校受験を控えた、管内の中学3年生に毎年贈呈し喜ばれています。また、管内の農産物をキャラクター化したPRに活用。オリジナルのテーマソングやダンスを作り、組合員や地域では大きな話題になりました。吉田会長は「地域貢献はもちろんですが、南蒲産の農畜産物を知ってもらうことが重要。難関突破米がきっかけになってほしいです。JAを中心に活力がみなぎる地域にしていければ」と期待を寄せていました。

**みずほの一言**  
キャラクターを作ったり  
テーマ曲で踊るなど  
ユニークなPR方法に  
驚きました。この取り組みが  
地域とのつながり作りにも  
なっていると感じました。

**JAグループからのおすすめわけ**  
本特集へのご意見・ご感想を募集しています。投稿いただいた中から毎月抽選で旬のJA特産品をお送りします。ハガキもしくはHPの特設ページから応募ください。

**JAグループ新潟**  
JAグループ新潟

〒951-8116 新潟市中央区東中通一番町189番地3  
JA新潟中央会 総務企画部「そうだったのJA!?'係 TEL 025-230-2010